

野党統一候補めざす

夏の参院選 ママの会31日集会

「安保関連法に反対するママの会」福井」が31日午後1時半から、アオッサ706号室（福井市手寄1丁目）で「ママセン キックオフ会」を開く。夏の参院選福井選挙区への野党統一候補擁立を市民側から働きかけていく。参加者を募っている。

昨年9月の安全保障関連法強行採決を受け、法廃止を求める運動ミナセン（みんなで選挙）が各地で始まっている。ママの会も賛同してママセンという名前を採用。すでに民主・共産・社民の各党派内担当者に統一候補擁立を要望した。当日話し合うテーマは①

現政権はいのちを大切にしているか②現政権は立憲主義に反しているか③現政権は生活者を大切にしているか。呼びかけ人のヤング有希子さん「福井市」は、巨大与党とばらばらな野党の現状が「投票に行っても変わらない」という意識と低投票率につながっていると分析。「変わる可能性という選択肢を市民の側から作っていきたい」と話す。

2月25日午後5時から、県教育センター（福井市大手2丁目）で、選挙プロガー座間宮ガレイ氏を招いて「激おこ！ 参院選@福井」（入場料1千円）を開く予定。 （下地毅）